



# 中国

## で学んだこと

9月25日火 29日土

友好都市である中国・昆山市(玉峰実験学校など)へ中学生10名と引率者4名の計14名が交流団として派遣されました。ここでは、帰国後の皆さんの感想を紹介します。

### 【昆山市派遣メンバー】

【団長「教育委員会」】

玉越宏利

合併後の初めての訪問。熱烈歓迎をしていただきました。文化の違いもさることながら、昆山市の方々の心を込めたもてなしは、特筆すべきものでした。永く心にとどめたいと思いました。

【引率「泉中学校長」】

小久保忠廣

「百聞は一見に如かず」の言葉どおり、生徒たちは自分の目や耳、そして肌で中国・昆山市を直に体験しました。この体験を、今後の生活に生かしてほしいと願っています。

【引率「教育委員会」】

平井敦

中国の方々の熱烈な歓迎に、交流に寄せる強い思いを感じました。この交流を有意義にするため、皆さん(派遣団)の日本での活動に期待します。

【引率「赤羽根中学校」】

石川祐子

「百聞は一見に如かず」。まだまだほんの一面にすぎないですが、中国の歴史・文化・人々を理解するのに、大変貴重な体験ができました。

【東部中3年】

姥原一輝

一番困ったことは、言葉の壁です。しかしこの問題は、心が通じ合うことによつてなくなることが分かり、良い経験ができました。

【東部中3年】

山本真依里

いろいろな身構える場面もありましたが、身振り手振りで楽しく会話することができました。この経験から、笑顔は万国共通の言葉だと感じました。

【田原中3年】

河合早紀



ホストファミリーは、英語も中国語もできない私に、一生懸命話しかけてくれました。この旅で「伝える大切さ」を学びました。

【田原中3年】

小嶋美季

積極的に行動することの大切さを学びました。言葉が通じなくて苦しみましたが、一生懸命伝えようとすれば通じ合えることも学びました。

【野田中3年】

嶋崎 淳

中国人は、交通量の多い上海の道路を横断歩道など関係なく渡っていて、「命がけだな」と、とても驚きました。やっぱり日本と違うなと思いました。

【赤羽根中3年】

山本華穂

優しくて心温かいホストファミリーと出会えて、とても楽しかったです。日本と異なる中国の文化を学び、貴重な体験ができました。

【伊良湖岬中3年】

河合みづき

この訪問で、いつも人に頼つてしまふ自分の甘い気持ちに負けない「積極性」を身につけることができました。また、英語力の未熟さを痛感しました。

【福江中3年】

星野沙由美

ホームステイ中、会話をするのがとても大変でした。お互いに伝えたい、理解したいという気持ちで、言葉の壁は乗り越えられると思いました。

【福江中3年】

荒木梨沙

さまざまな異国文化を知り、そして楽しむことができました。とても充実した国際交流となりました。また、「コミュニケーション」の大切さを実感しました。

【泉中3年】

河合遥香

言葉がうまく通じなくても、分かり合えることができました。言葉ではなく、分かるうとする気持ちで通じ合えたのだと思いました。

